



経験豊かな相談員が相談にあたり

★相談のようす

日に日に成長していくお子さんの姿は親の最大の楽しみです。でも「朝、学校に行き送る」「最近、ゲームばかりしている」「急に成績が下がってきた」などの「悩み」が生まれてくることもありま。また、子ども自身が「悩み」をもつ場合も少なくありません。教育相談・課題対応室では、こうした「悩み」をともに考え、問題の解決と子どもの一層の成長を支援していきます。

ひとまず電話を！

子育てや教育の悩みを相談をお受けします

ます。保護者や学校関係者には電話や面談での相談を行います。子どもにはプレイセラピー（遊戯療法）やソーシャルスキルの活動を通して、課題に対処する技や力を育む取り組みをしています。

★教育相談に感じる不安

不登校やいじめなどは、子どもの身体状況や行動の変調に気づいたら、早めに相談されるのが、早い解決に向かいます。

また、子どもの問題行動や教育にかかわる課題の解決のためには、家庭と学校はもとより、医療機関やより専門的な相談機関などとも連携を図ることが大切です。教育相談・課題対応室がその架け橋となって課題解決へ進むよう努めています。悩みや不安を抱えず、気軽にご連絡ください。

【教育相談・課題対応室】

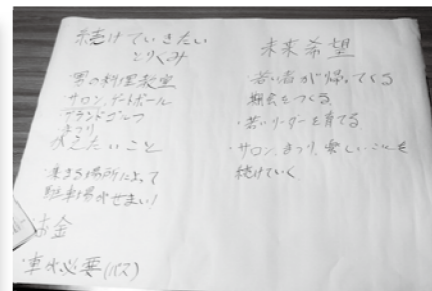
安曇川町田中455

(教育委員会庁舎1階)

☎(32) 4406

■月曜日～金曜日

8時30分～17時



基礎情報 (H29.1月現在)  
区・自治会名: 小川区  
世帯数: 14世帯  
高齢化率: 65.2%

昨年7月に朽木地域の小川(こがわ)区で開催された集落座談会のようすについて紹介します。集落座談会には、9人の区民の方が参加され、市職員から地域の人口動向を、社会福祉協議会からは地域の支え合いや助け合いの事例について説明を受けた後、この地域で「続けたいこと」「変えたいこと」「未来の希望」について、話し合いが進められました。話し合いでは、「集落で行うサロンや居場所づくりの大切さ、若い人が帰ってくる機会を積極的にPRしていきたい、未来を担うリーダーを育成することも今のリーダーの仕事である」など、これからの集落を維持していくための積極的な意見

が交わされました。また、祭りの賑わいを小さくするなどして負担を少なくし、集落の伝統を守っていくなどの意見も出されました。座談会の終わりには、今日の意見をまとめた模造紙を持って、他の集落に話しかけに行こうなどとも話されていました。座談会を終えて、榊区長のもとには、集落の皆さんから「今回は、在所に住む人が参加しての座談会だった。次は、集落を出ている息子たちにも来てもらい、現状と10年先ぐらいの、集落のあり方を話し合えたらいいな。息子らも交えて、集落で暮らし続ける仕組みが見出せればいいな」などの意見が寄せられているそうです。

今年が高島に注目

「インスタ映え」が昨年の流行語大賞に選ばれましたが、ある週刊誌に2018年にブレイクする(注目される)地方のひとつに高島市が「インスタ映えする街」として掲載されました。ちょうど今から1年前の3月に市の公式インスタグラムを開設し、季節折々の景観や自然を中心に公開しており、「いいね!」数もフォロワー数も着実に増え、現在は700人近い方にフォローいただいています。とりわけ白鬚神社やメタセコイア並木道は、「いいね!」数が多く、さまざまなメディアに取り上げていただいている効果が伺えます。

による集客も期待できる場所でもあります。先人の培われた資産、自然景観、環境が今、全国から注目を受けていますことを大変光栄に思いますとともに、今後もこの高島の魅力に磨きをかけ、観光客の増加につなげていきたいと思えます。市の公式インスタグラム「たかP写真館」は、ほぼ毎日更新されています。インスタグラムをされていない方でもご覧いただけますので、ぜひ一度見ていただければと思います。

福井正明



たかP写真館



市長雑記

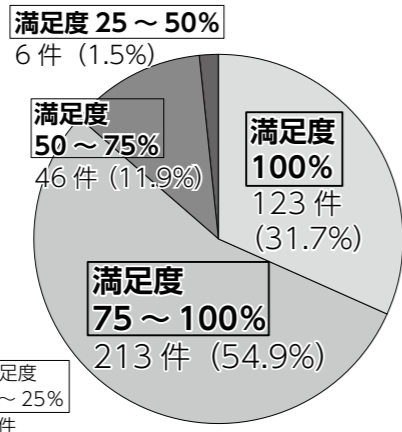


子育て世代のニーズを把握するアンケート調査結果をお知らせします

12月に「あゆむ 子育て・教育にかかわるアンケート調査」を行いました。

【公立園に対する満足度】

▼問 通園されている保育園・幼稚園・認定こども園の運営について満足度は何%ですか。



▼問 不安や悩みと感じられること  
はどのようなことですか。  
子育ての方法やしつけ 34・4%  
成長や発達のこと 16・7%  
仕事との両立 14・8%

少子高齢化は市でも一層加速し、高齢化率も平成29年11月末現在で33%となり、年間の出生数も300人前後で推移しています。

また、核家族の増加や家族形態の変化により、地域の子育て環境も多様化しています。今回のアンケート調査の結果を基に、新たな保育ニーズを把握し、子育て世代の保護者の皆さんの満足度を高めていきたいと思えます。

仕事と保育を両立できるよう、さまざまな子育て支援施策で、安全で質の高い保育と教育の充実を目指して、今後も環境の整備を進めます。調査概要など詳しくは、市のホームページをご覧ください。

園子育て支援課

☎(25) 8136

【不安や悩みについて】

▼問 子育てについて不安や悩みがありますか。

すくある 11・2%  
少しある 66・5%  
ほとんどない 22・3%  
ありません 0%

※防衛省の特定防衛周辺整備交付金を活用し、市内保育園などの運営を行っています。